

農業後継者育成基金事業

平成30年度農業青年組織等活動活性化事業（地域青年農業者等グループ活動活性化助成）

事業主体名 ポタジェファム

1 目的

ポタジェファムは、鹿児島市の30～40代の若手女性農業者が、地域の活性化や販路拡大による農家所得の向上を目標に、平成29年7月に結成した組織で、昨年度は、紹介パンフレットの作成や、シェフとの意見交換等を行った。

今年度は、農産物や農産加工品をPRするマルシェの開催や、レストランやホテルとの連携による農場ツアー、生産者とシェフとの食材研修会などを通じて販路を拡大し、農家の所得向上につなげる。

2 実施状況

(1) 生産者とシェフとの食材研修会

（平成30年8月23日、鹿児島地域振興局）

鹿児島市で生産されている野菜の旬や特徴の説明、生産者だからこそ知るおいしい食べ方の紹介、日本茶インストラクターを講師に、おいしいお茶の入れ方の体験など、シェフの方々は興味深く受講されていた。

生産者とシェフやシェフ同士など、いろいろな人との繋がりができたと好評であった。



(2) 農場ツアー

（平成30年10月25日、鹿児島市内の3農場）

一番茶と二番茶の香りの違い、他農家と競合しない野菜づくりに挑戦する姿、収穫した野菜の徹底した温度管理などに、飲食業者は感心していた。

普段見ることのできない生産現場を見ることは、飲食業者にとって貴重な経験であり、生産者の農産物に対する熱意を伝えることができ、現在、農産物の供給先が徐々に増えている。



(3) ポタジェファムマルシェ

（平成30年12月2日、ドルフィンポート）

会員と協力農家の13店舗が出店し、生産した農産物を消費者にPRすることができた。ファーマーズマーケットと同日にドルフィンポートで開催することで、多くの来場者があった。

マルシェに参加協力した若手女性農業者と、会員とのネットワークが広がった。また、インスタグラム等でマルシェのお知らせをしたり、当日の様子を知らせるなど、会員自ら活動をPRすることができた。



3 今後の課題、取り組み

- ・活動を継続し、活性化させるために会員を増やす。
- ・農産物の販路拡大に向けた取組を継続し、農家所得の向上を図る。